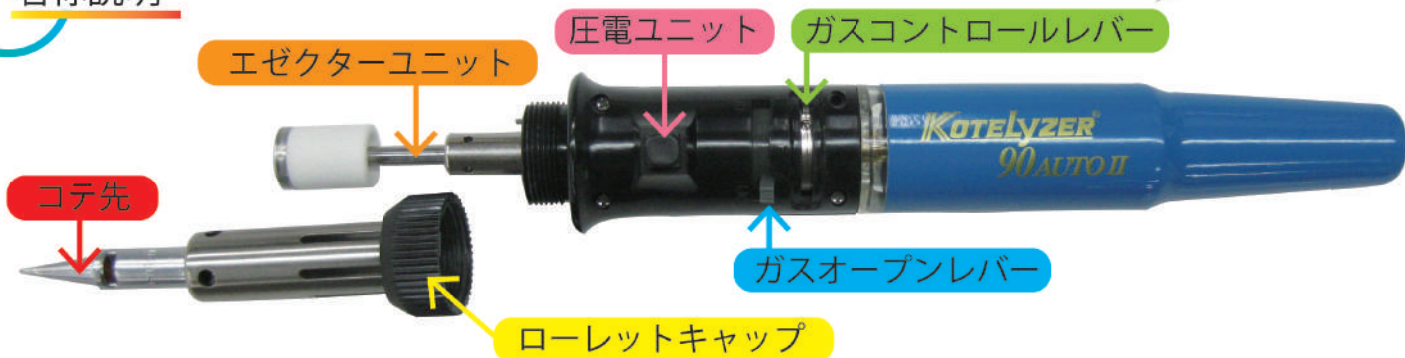


01 名称説明



02 ガス吐出量調整について

工場出荷時にはガスコントロールレバーが真ん中の時に、炎長が 10～11mm になるように調整がされています。炎長が小さ過ぎても、大き過ぎても着火不良の原因となります。

吐出量調整が必要な時

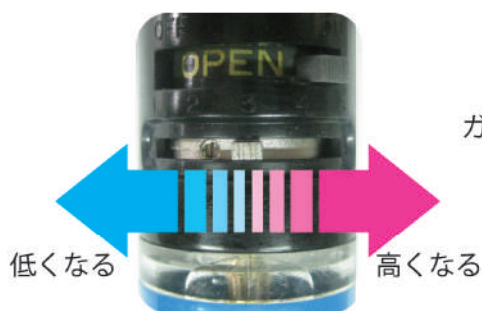
1 ガス吐出量が低い場合

- ・着火後、触媒反応が悪く、コテ先がなかなか温まらない
- ・コテ先を外し、ライターで着火しても炎が小さくすぐに消えてしまう
- ・ガスの吐出音が小さい、またはしない

2 ガス吐出量が高い場合

- ・着火してしばらく使用すると『ジュジュジュ』という音がなり、触媒反応が消えてしまう
- ・コテ先を外し、ライターで着火しようとする、炎が弾かれて着火しない

吐出量調整の基本



ガスコントロールレバーを右に移動させると炎長は**高**くなり
左に移動させると炎長は**低**くなる

事前準備

ローレットキャップを回して外し、エゼクターユニットが見える状態にします。

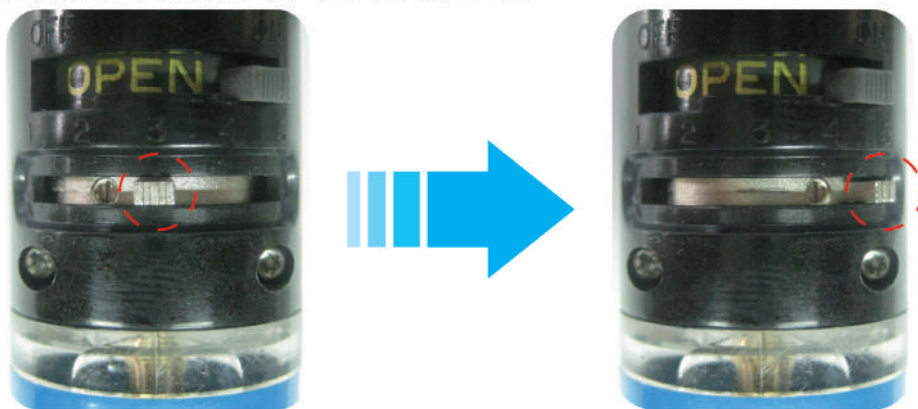


用意する物



03 吐出量を下げる場合

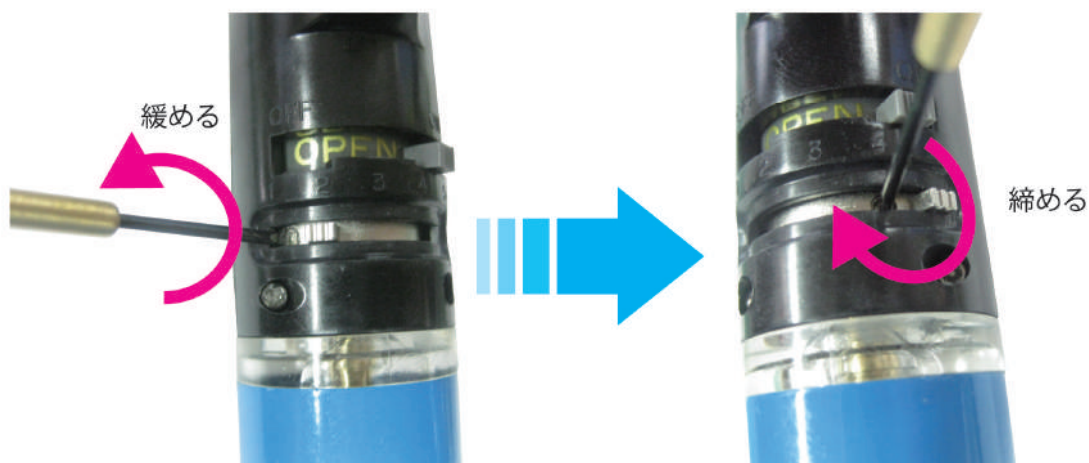
- 1 ガスコントロールレバーを真ん中の③の位置でガスオープンレバーを『OPEN』にして、ライターで着火してガスコントロールレバーを⑤の位置に移動させます
(炎がガスに弾かれて着火しない場合は②の位置に)



- 2 ガスコントロールレバーを徐々に左に移動させ、炎長が 10～11mm に下がるまで移動させます。
(一番左でも炎長が 10mm 以上ある場合は②の位置に)



- 3 マイナスドライバーでガスコントロールレバーのビスを緩めます。
緩めた状態で炎長が 10mm～11mm に調整できた場合はガスコントロールレバーを③の位置で締めます、
調整出来てない場合はガスコントロールレバー⑤の位置に移動させて締めます。



- 2 と 3 を繰り返す、最終的にガスコントロールレバーが③の位置で
炎長が 10～11mm になるように調整します。

04 吐出量を上げる場合

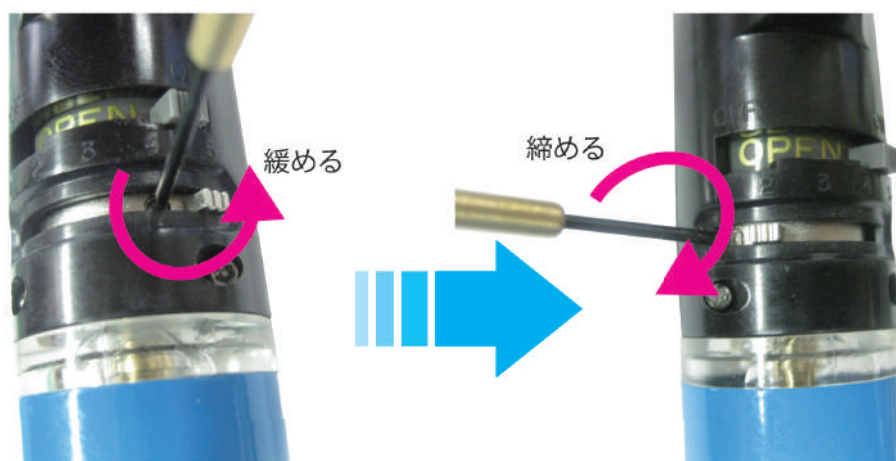
- 1 ガスコントロールレバーを真ん中の③の位置でガスオープンレバーを『OPEN』にして、ライターで着火してガスコントロールレバーを②の位置に移動させます。
(ガスの吐出音が消えて着火しない場合は⑤の位置に)



- 2 ガスコントロールレバーを徐々に右に移動させ、炎長が 10～11mm になるところまで移動させます。
(一番右でも炎長が 10mm 以下の場合は②の位置に)



- 3 マイナスドライバーでガスコントロールレバーのビスを緩めます。
緩めた状態で炎長が 10mm～11mm に調整できた場合はガスコントロールレバーを③の位置に調整出来てない場合は②の位置に移動させてガスコントロールレバーを締めます。



- 2 と 3 を繰り返し、最終的にガスコントロールレバーが③の位置で炎長が 10～11mm になるように調整します。